

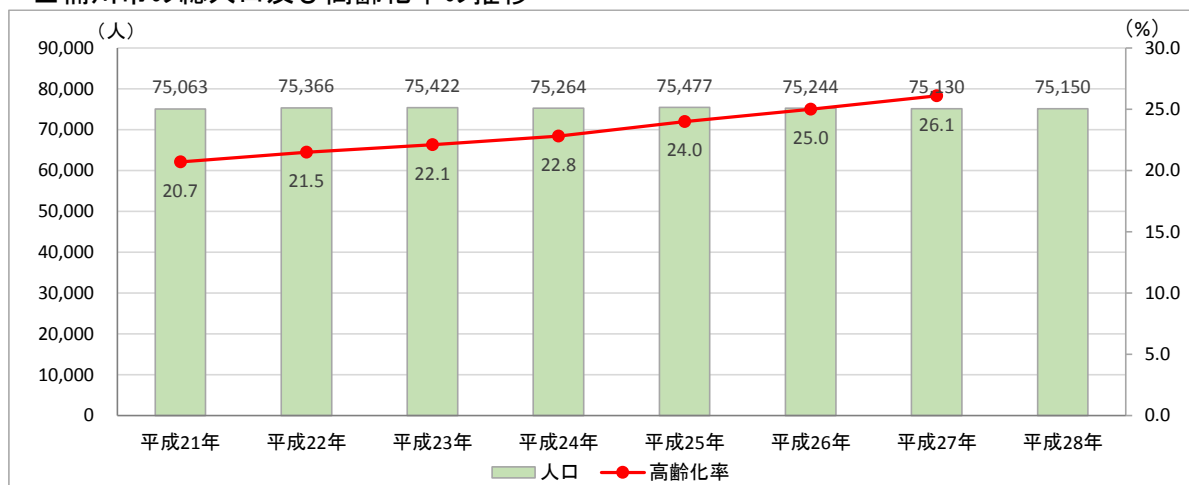
市内循環バスを取り巻く現況把握

1 地域特性の整理

(1) 人口動向

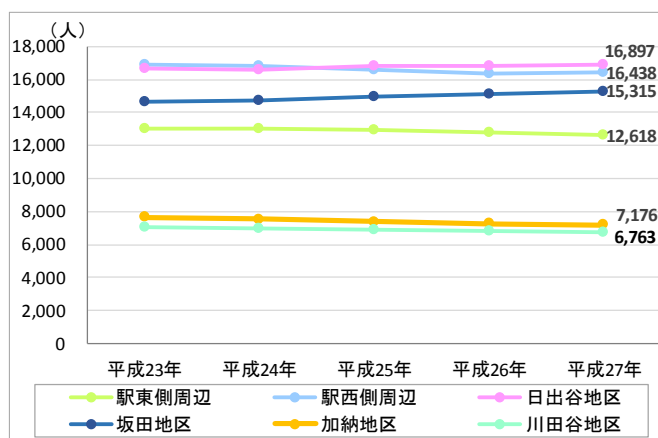
- ・ 桶川市の総人口は、平成 28 年 4 月 1 日現在 75,150 人で、平成 23 年までは微増傾向であったが、それ以降は横ばい傾向となっている。
- ・ 高齢化率をみると、平成 27 年の高齢化率は 26.1%であり、高齢化が進んでいる。
- ・ 地区別人口動向をみると、日出谷地区が16,897人で最も多くなっており、日出谷地区、坂田地区では増加傾向、駅東側周辺、駅西側周辺、加納地区、川田谷地区では減少傾向となっている。
- ・ 地区別高齢化率については、坂田地区で23.5%と最も低く、郊外のカナ地区が31.0%、川田谷地区が29.3%と高くなっている。

■桶川市の総人口及び高齢化率の推移

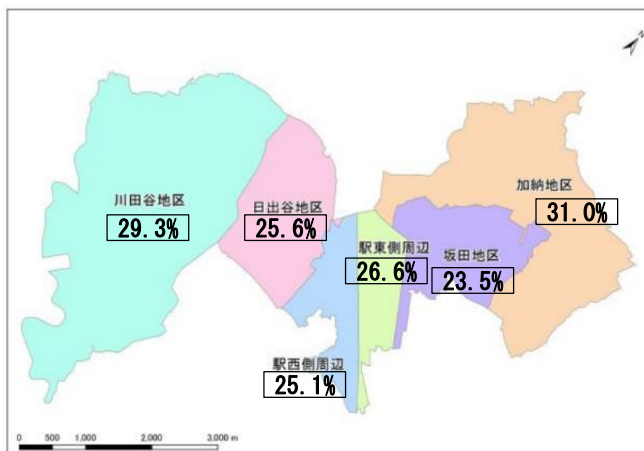


資料：桶川市住民基本台帳（人口：各年 4 月 1 日、高齢化率：各年 1 月 1 日）

■地区別人口の推移



■地区別高齢化率

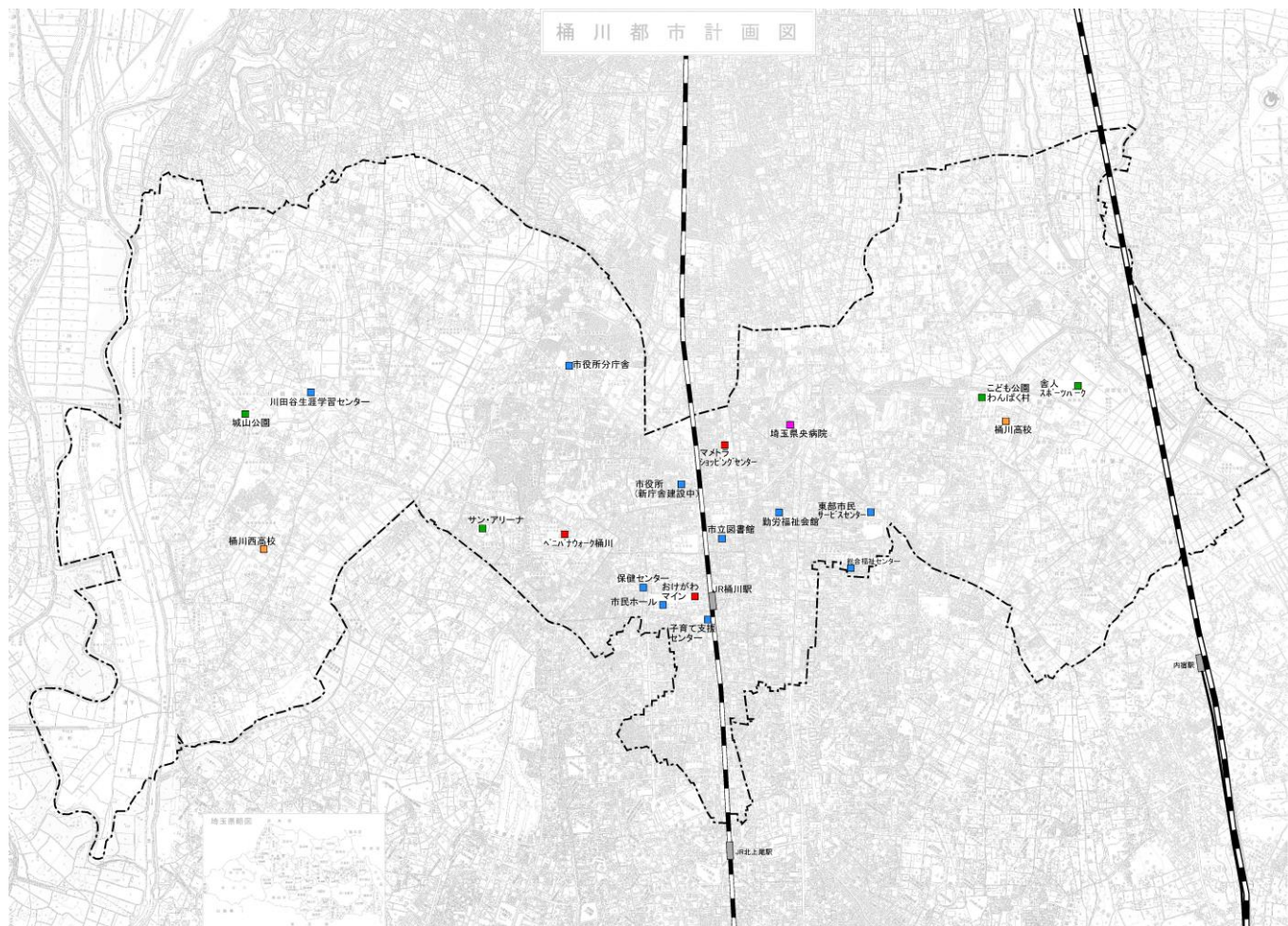


資料：桶川市住民基本台帳（各年 4 月 1 日）

(2) 主要施設配置状況

- ・ 桶川市内の主要施設は、J R 桶川駅周辺に市役所（現在建て替え中）、文化センター、図書館、等の公共公益施設が立地している。
- ・ 市の郊外には、桶川高校や桶川西高校及び城山公園、スポーツパーク等が立地している。

■主要施設立地状況

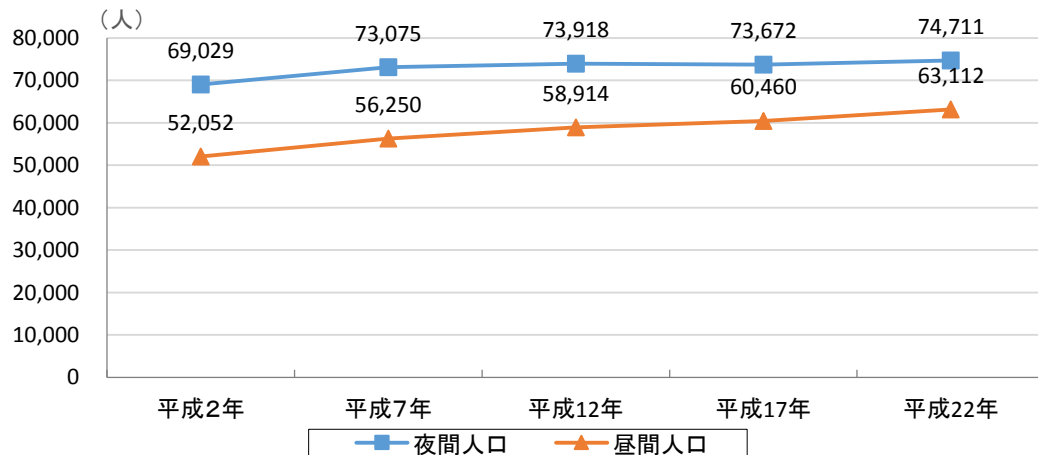


(3) 交通手段特性

1) 通勤・通学流動

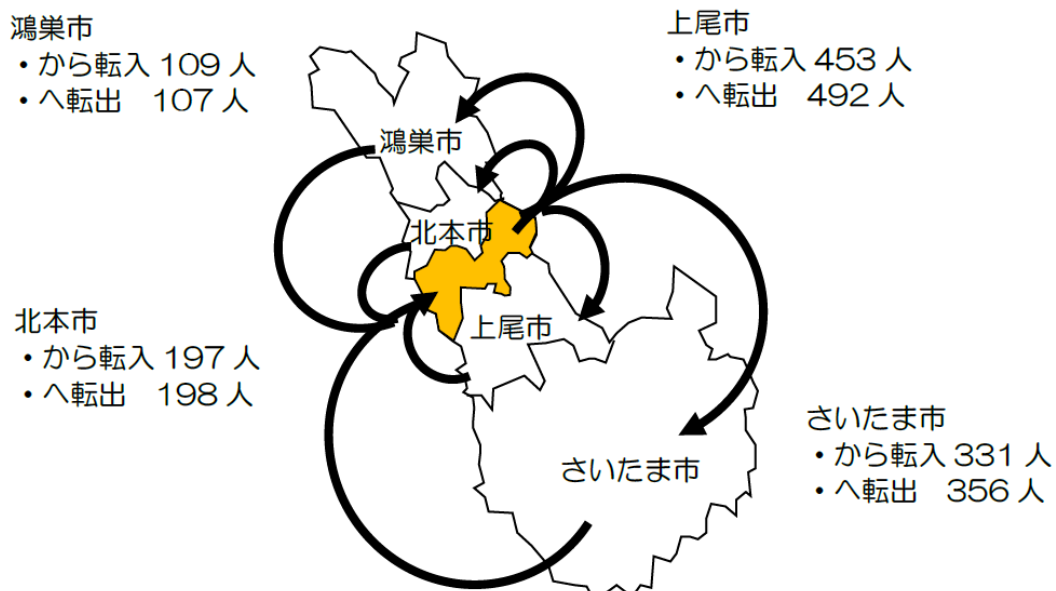
- ・通勤・通学流動は流出人口が 27,933 人、流入人口が 16,334 人で流出超過となっており、夜間人口が昼間人口を上回っているが、夜間人口と昼間人口との差は年々減少している。
- ・流出・流入人口は、流出先として東京都が最も多く、次いでさいたま市、上尾市となっているが、流入先は上尾市が最も多くなっている。

■昼夜間人口の推移



資料：国勢調査

■流出流入人口（15歳以上通勤・通学者）



資料：国勢調査（平成 22 年）

2) 自動車保有台数

- ・自動車保有台数の5年間の増減をみると、特に軽自動車で1.23倍と総世帯数の伸び率より増加傾向にあり、主に自家用に使用される割合が高い乗用車と軽自動車の合計では1.02倍と総世帯数に比例し増加している。

■自動車保有台数の推移

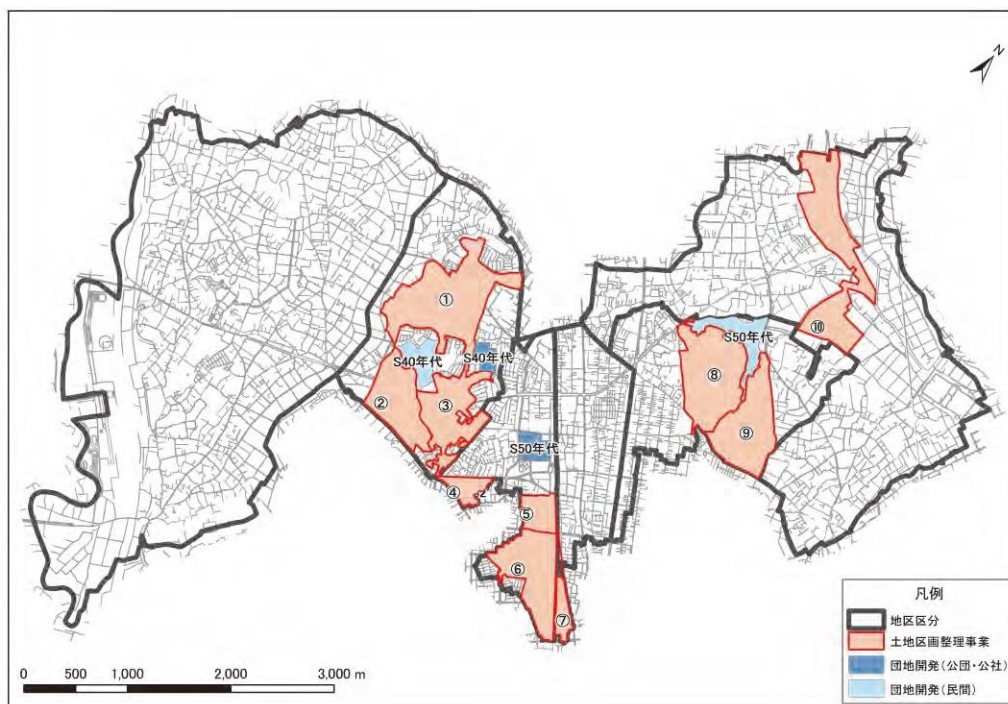
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	伸び率(H27/H23)
乗用車	25,234	24,989	24,738	24,339	24,090	0.95
軽自動車	8,745	9,088	9,536	10,158	10,738	1.23
合計	33,979	34,077	34,274	34,497	34,828	1.02
総世帯数	29,788	30,039	30,440	30,711	30,895	1.04
世帯当たり保有台数	1.14	1.13	1.13	1.12	1.13	-

資料：埼玉運輸局、税務課
※住民基本台帳（各年4月1日）

(4) 都市基盤整備状況

- ・土地区画整理事業は市内循環バスが運行開始以降（平成13年4月）、鴨川地区、朝日地区及び神明地区以外の地区で整備が進められ、現在、上日出谷南地区、下日出谷東地区、坂田西地区で事業中となっている。

■土地区画整理事業の整備状況



<土地区画整理事業一覧>

番号	事業名称	完了年度
①	上日出谷南特定土地区画整理事業	平成31年度（予定）
②	下日出谷西土地区画整理事業	平成21年度
③	下日出谷東特定土地区画整理事業	平成33年度（予定）
④	鴨川土地区画整理事業	昭和62年度
⑤	若宮土地区画整理事業	平成16年度
⑥	朝日土地区画整理事業	昭和60年度
⑦	神明特定土地区画整理事業	平成12年度
⑧	坂田西特定土地区画整理事業	平成33年度（予定）
⑨	坂田東特定土地区画整理事業	平成24年度
⑩	東部土地区画整理事業	平成3年度

資料：区画整理課

2 公共交通の現状

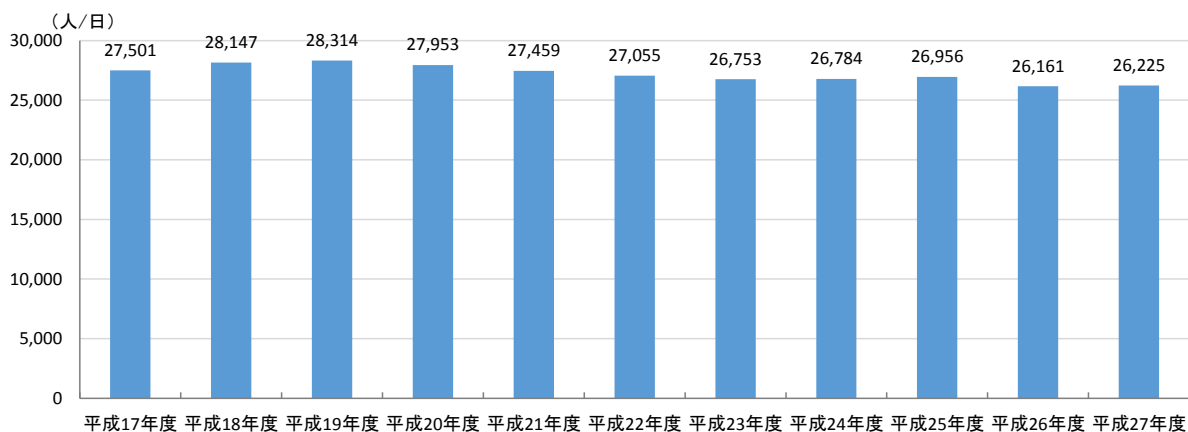
(1) 鉄道

- ・桶川市における鉄道は、市中央部をＪＲ高崎線が南北方向に走っており、市内の鉄道駅としては、ＪＲ桶川駅のみである。また、平成27年3月には、上野東京ライン開通に伴い、都心への利便性が向上した。
- ・なお、市外の鉄道駅となるが、市南部市境から約200mに北上尾駅があり、市南部の市民においては、桶川駅同様、北上尾駅から上野・東京・新宿方面へのアクセス手段として利用が可能である。また、市東部市境から約700mの位置にニューシャトル内宿駅があり、大宮方面へのアクセス手段として利用が可能である。
- ・ＪＲ桶川駅の乗車人員は、平成20年度より減少傾向であったが、平成24年度には増加に転じたものの、平成26年度は減少しその後は横ばいとなっている。

■ＪＲ桶川駅における運行ビス水準

	運行本数	運行時間帯
平日	○上野・新宿方面（上り） 117 本/日 ○高崎方面着（下り） 121 本/日	○上野・新宿方面（上り） 始発 5:35～終発 23:34 ○高崎方面着（下り） 始発 5:53～終発 0:29
休日	○上野・新宿方面（上り） 110 本/日 ○高崎方面着（下り） 110 本/日	○上野・新宿方面（上り） 始発 5:35～終発 23:34 ○高崎方面着（下り） 始発 5:53～終発 0:29

■ＪＲ桶川駅における１日平均乗車人員の推移



資料：ＪＲ東日本(株)

(参考) ニューシャトル内宿駅における運行状況

	運行本数	運行時間帯
平日	○大宮駅発（上り） 103 本/日 ○内宿駅着（下り） 108 本/日	○大宮駅発（上り） 5:40～23:35 ○内宿駅着（下り） 6:25～0:30
休日	○大宮駅発（上り） 98 本/日 ○内宿駅着（下り） 98 本/日	○大宮駅発（上り） 5:40～23:35 ○内宿駅着（下り） 6:25～0:31

※大宮駅までの運賃：350 円、大宮駅までの所要時間：25 分

(2) 高速バス

- ・平成 28 年 7 月 13 日より、上尾駅・桶川駅～羽田空港線が運行を開始し、桶川駅から羽田空港へのアクセス性が高まっている。

■上尾駅・桶川駅～羽田空港線の概要

所要時間	最短所要時間 85 分
運行本数	4 往復
運賃	1,670 円（小児 840 円）、I C カード利用可
のりば	J R 桶川駅西口 おけがわマイン前 
運行事業者	東武バスウエスト、京急急行バス

座ってらくらく羽田直行便!!

上尾駅・桶川駅～ 羽田空港線

最短所要時間85分

※桶川駅～羽田空港第2ターミナル間

**平成28年
9月1日乗車分より
予約サービス
開始!!**

※羽田空港行きのみ





大人運賃(片道)
1,670円(小児840円)!

羽田空港行きのみ
予約制

**トランク
完備**

トイレ付

全国交通系ICカード利用可
(バス利用特典サービス対象外)

※全国10種類の交通系ICカード(KiTaica, PASMO, Suica, manaca, TOICA, PiTaPa, ICOCA, はずかashi, nimoca, SUICA)が利用いただけます。一部ご利用いただけるカードサービスもございますので、予めご了承ください。

※ICカードは交通系ICカード全国相互利用のシンボルマークです。




●時刻表(平日・土曜・日曜・祝日)

TW: 東武バスウエスト 車 KQ: 京浜急行バス 車

上尾駅・桶川駅発 ⇒ 羽田空港ゆき					
停留所	運行会社	TW	KQ	TW	KQ
上尾駅西口 (⑧番のりば)	発	4:30	6:00	16:00	19:00
桶川駅西口	発	4:45	6:15	16:15	19:15
羽田空港 (第2ターミナル)	着	6:10	8:00	17:40	—
羽田空港 (第1ターミナル)	着	6:15	8:05	17:45	—
羽田空港 (国際線ターミナル)	着	6:22	8:12	17:52	20:42

羽田空港発 ⇒ 桶川駅・上尾駅ゆき					
停留所	運行会社	TW	KQ	TW	KQ
羽田空港 (国際線ターミナル⑧番のりば)	発	8:30	16:00	20:00	21:55
羽田空港 (第2ターミナル⑥番のりば)	発	8:40	16:10	20:10	22:05
羽田空港 (第1ターミナル④番のりば)	発	8:45	16:15	20:15	22:10
桶川駅西口	着	10:15	17:40	21:30	23:25
上尾駅西口	着	10:30	17:55	21:45	23:40

※上尾駅西口は平日・土曜・日曜・祝日ともに10分前発です。

※道路状況により延着する場合がありますので余裕をもってご利用ください。

羽田空港行きの乗車券は コンビニで買おう!



Famiポート



Loppi(ローソン)
ミニストップ



セブンイレブン

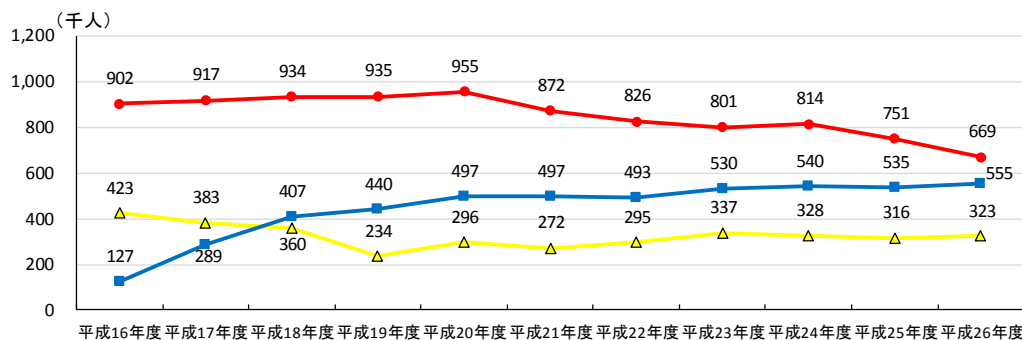
(3) 路線バス

- ・市内の路線バスは、朝日自動車(株)、東武バス(株)、川越観光自動車(株)の3社により、JR 桶川駅を起終点に川越駅、北里メディカルセンター、菖蒲車庫を結ぶ10系統(うち、2系統は急行バス、直通バス)が運行されている。
- ・路線バスの乗降客数は、桶川～菖蒲線及び桶川～川越線は減少傾向にあるが、桶川～北里メディカルセンター線は増加傾向となっている。

■路線バス運行状況

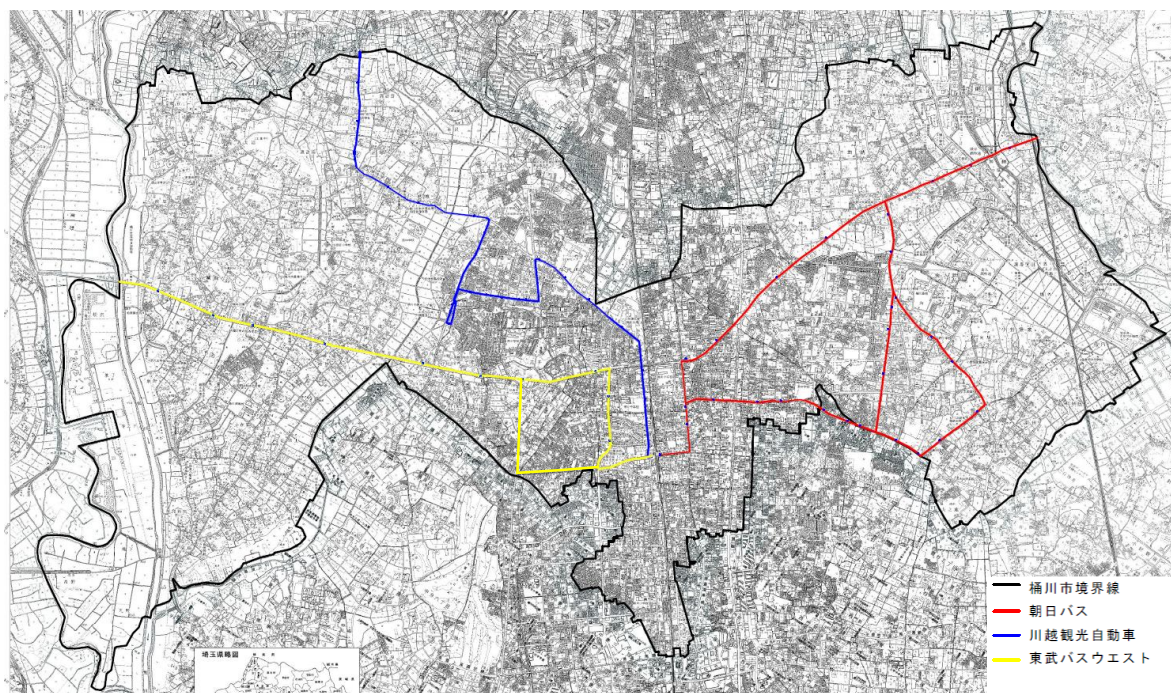
事業者	系統	運行回数	
		平日	土休日
川越観光自動車(株)	桶川駅西口～けやき団地	59回	43.5回
	桶川駅西口～けやき団地～北里メディカルセンター	26.5回	10.5回
東武バスウェスト	川越駅～桶川駅(西口)	18回	13回
	桶川駅西口～ベニバナウォーク桶川(直通バス)	22回	22回
朝日自動車(株)	桶川駅東口～五丁台～菖蒲車庫	56回	39.5回
	桶川駅東口～菖蒲総合支所前～菖蒲車庫	6.5回	—
	桶川駅東口～西窪台～菖蒲車庫	3.5回	0.5回
	桶川駅東口～加納公民館～桶川駅東口	45便	35便
	桶川駅東口～加納公民館～みの木	5便	—
	桶川駅東口～モラージュ菖蒲のコート南入口(急行)	14.5回	14.5回

■路線別乗降客数の推移



資料：各バス事業者資料

■バス路線図



(4) 市内循環バス『べにばなGO』

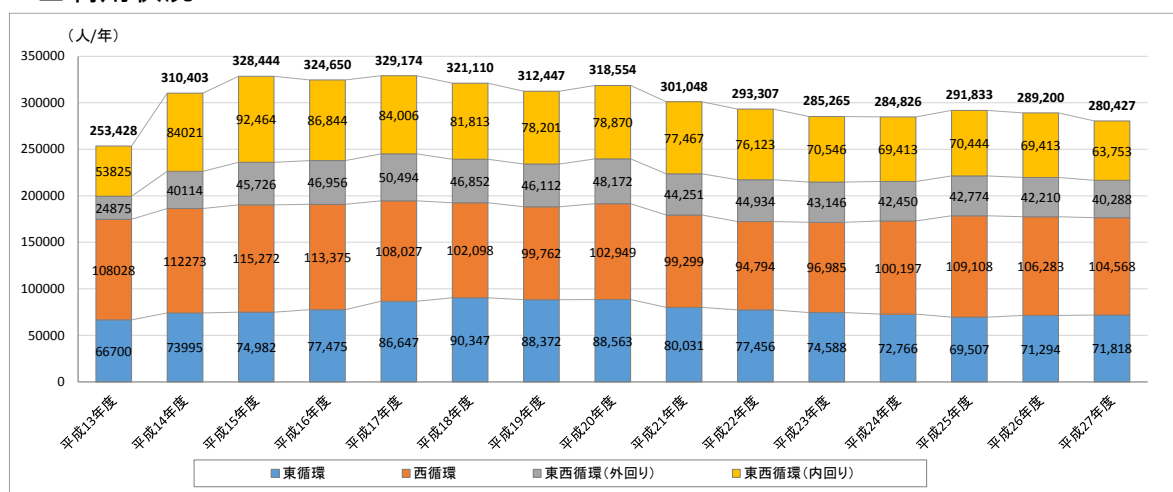
①運行概要及び利用者数等

- ・市内循環バスは、交通空白地地帯の解消、高齢者等移動制約者の移動手段を確保すること等を目的として、平成 13 年 11 月より運行を開始し、現在 4 ルートが運行されている。また、開発による人口定着や道路整備に合わせ、ルートの見直しも行われてきた。
- ・運行車両数は 4 台（各ルート 1 台）で、西循環ルートのみ IC カードが設置されている。
- ・年間乗車人員は、平成 27 年度が約 28 万人となっており、運行開始後、増加していたものの、平成 17 年度をピークに減少傾向となっている。ルート別にみると、西循環ルートで約 10 万人と、総乗車人員の約 37% を占めている。
- ・行政負担額は、運行赤字相当額を負担しており、平成 27 年度で約 5,500 万円と年々増加している。

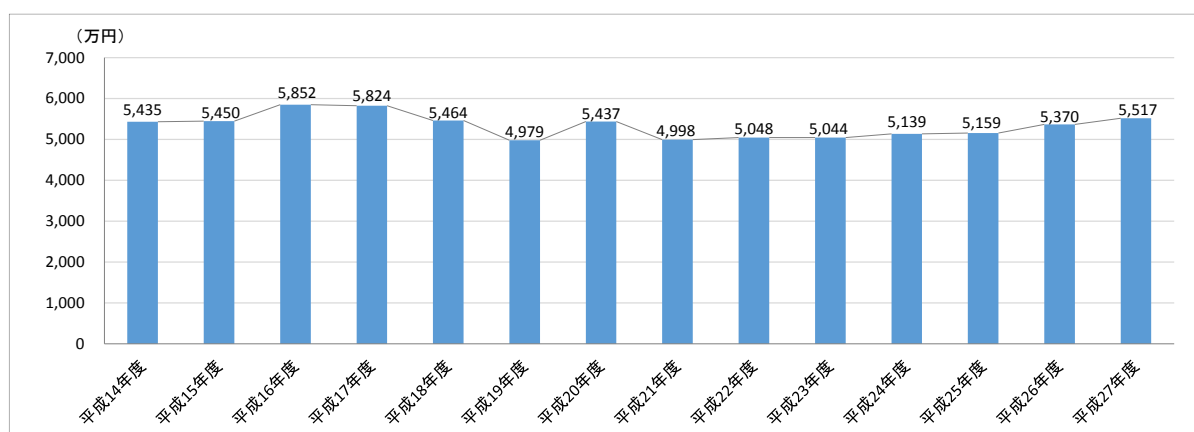
■運行概要

ルート	運行事業者	1 循環所要時間	運行時間帯 (始発～終発)	運行本数	運賃
東循環	協同観光バス	39 分	午前 8 時～午後 8 時	13 便	100 円均一（未就学児は無料） 障害者手帳を持っている人及び介助人 1 名は乗車料が無料 西循環のみ IC カード（スイカ、パスモ等）利用可
西循環	川越観光バス	37 分	午前 8 時～午後 9 時	13 便	
東西循環 (外回り)	協同観光バス	110 分	午前 6 時 55 分 ～午後 7 時 45 分	6 便	
東西循環 (内回り)	協同観光バス	81 分	午前 6 時 55 分 ～午後 8 時 15 分	8 便	

■利用状況



■市内循環バス運行に対する行政負担



②平成 27 年度市内循環バスにおける乗降調査からみた利用特性

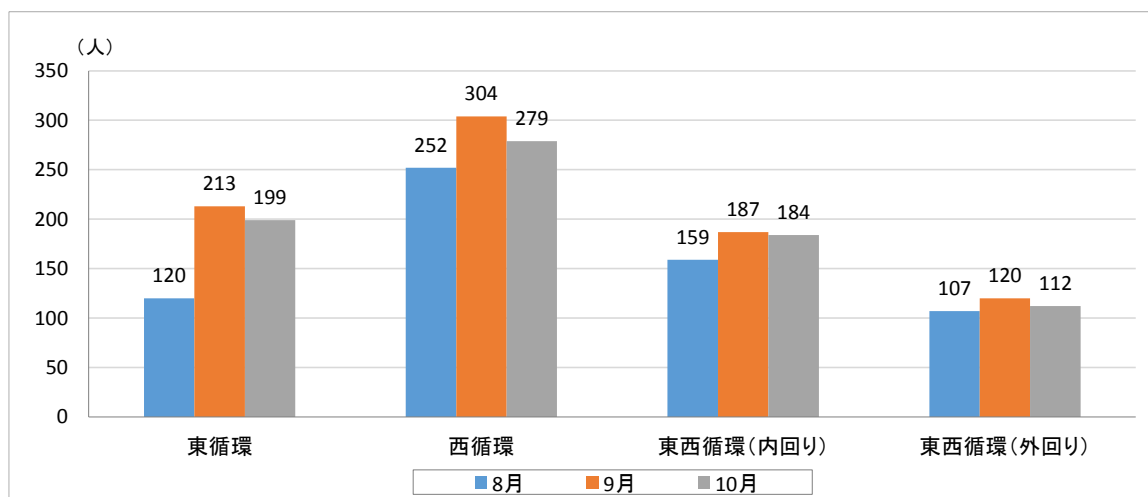
a. 調査概要

調査方法	市職員が各車両に乗り込み、目視により利用者の乗降バス停を観測。
対象路線、便	全路線、全便
調査日	①平成 27 年 8 月 22 日（土）～28 日（金） ②平成 27 年 9 月 5 日（土）～8 日（火） ※台風 18 号緊急対応のため延期 10 月 7 日（水）～9 日（金） ※上記の補完調査 ③10 月 17 日（土）～23 日（金）

b. 調査期間における利用者数

- ・調査期間中の 1 日平均利用者数は西循環ルートが最も多く、東西循環（外回り）ルートが最も少なくなっている。
- ・高校の夏季休暇中である 8 月は、全路線で利用者数が少なくなっている。

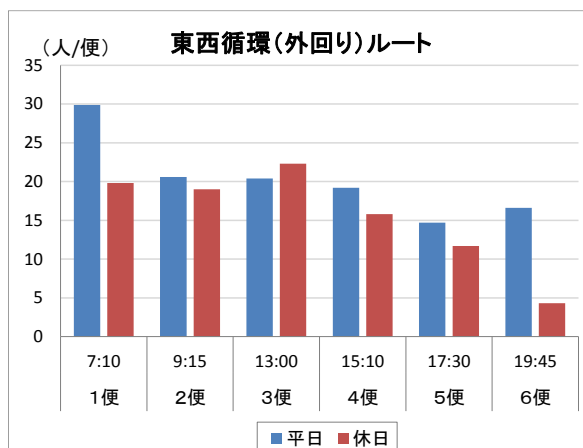
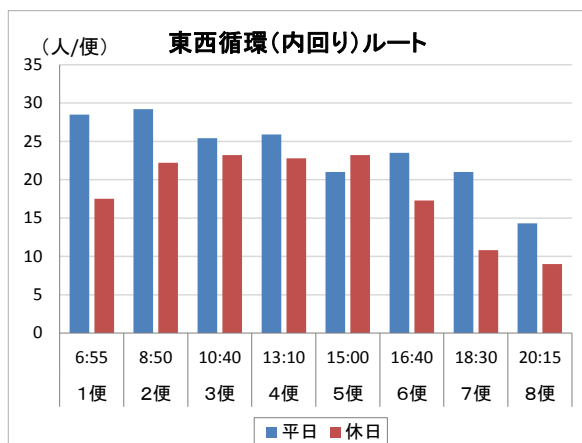
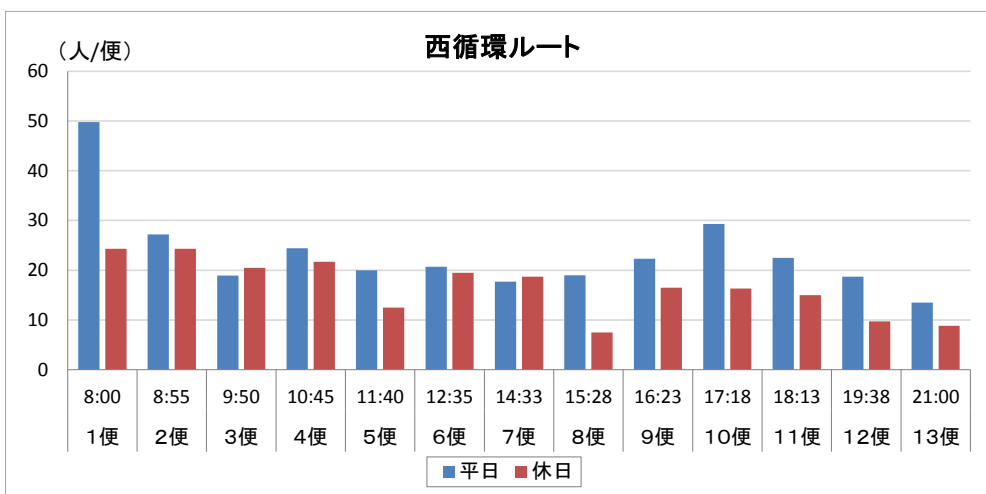
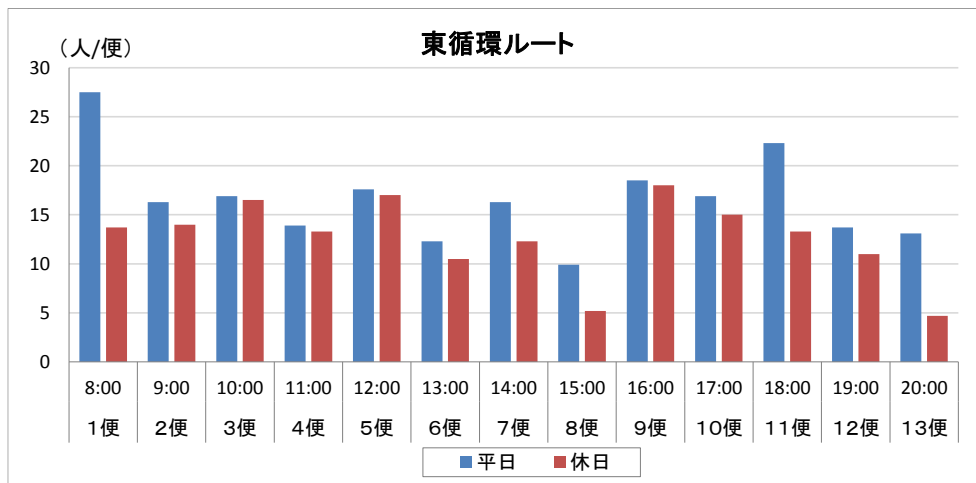
■ルート別 1 日平均利用者数



c. 調査結果からみた利用特性

- ・時間帯別 1 便当り平均利用者数をみると、どの路線も 1 便目の利用者数が多くなっている。
- ・最終便等一部の時間帯で利用者が少ない時間もあるが、平均するとどの時間帯も同程度の利用がされており、東循環ルートは他の路線に比べ、1 便当り 10～15 人の利用となっているが、他の路線においては、1 便当り 20 人前後の利用となっている。

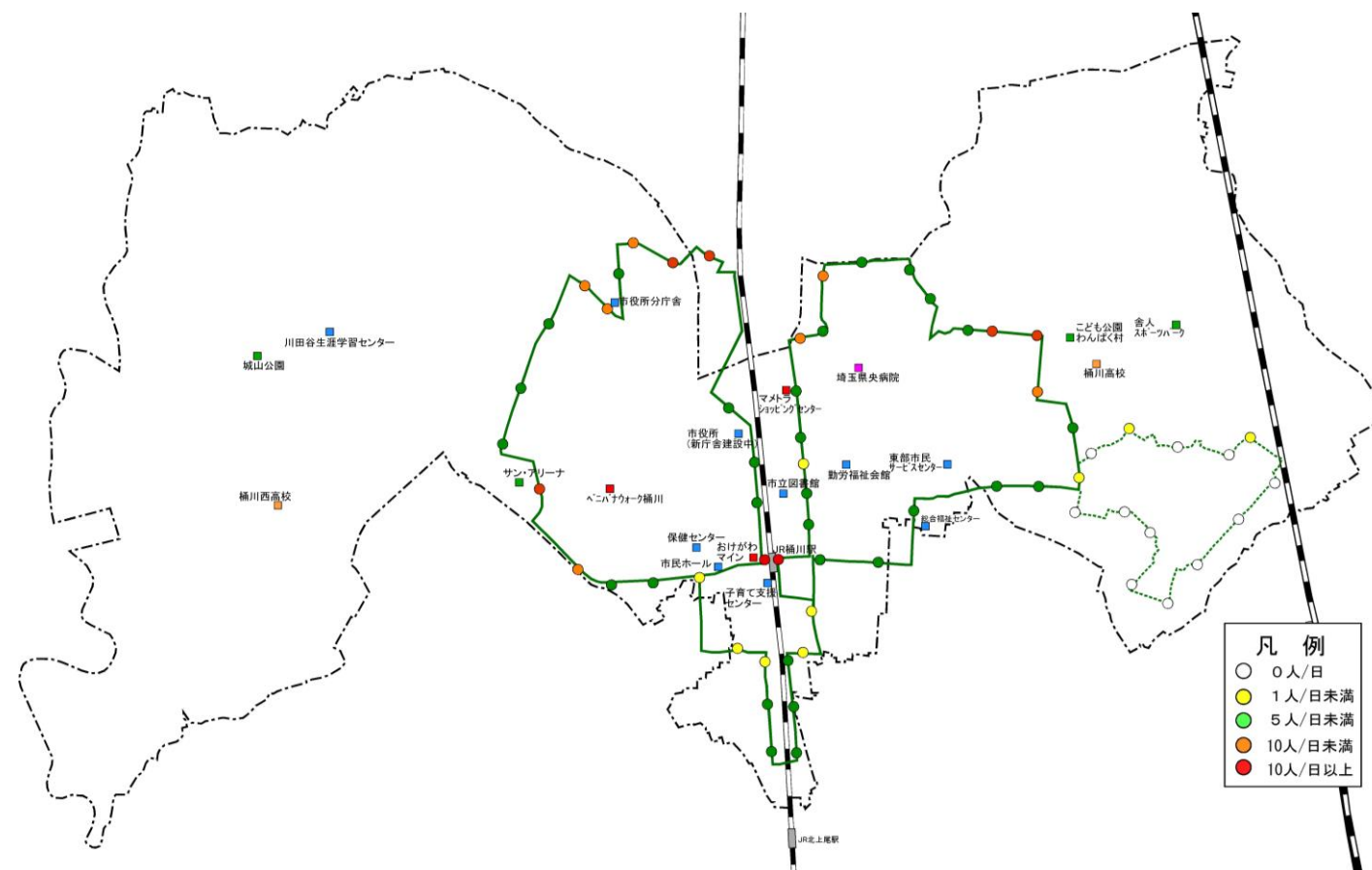
■時間帯別 1 便当り平均利用者数



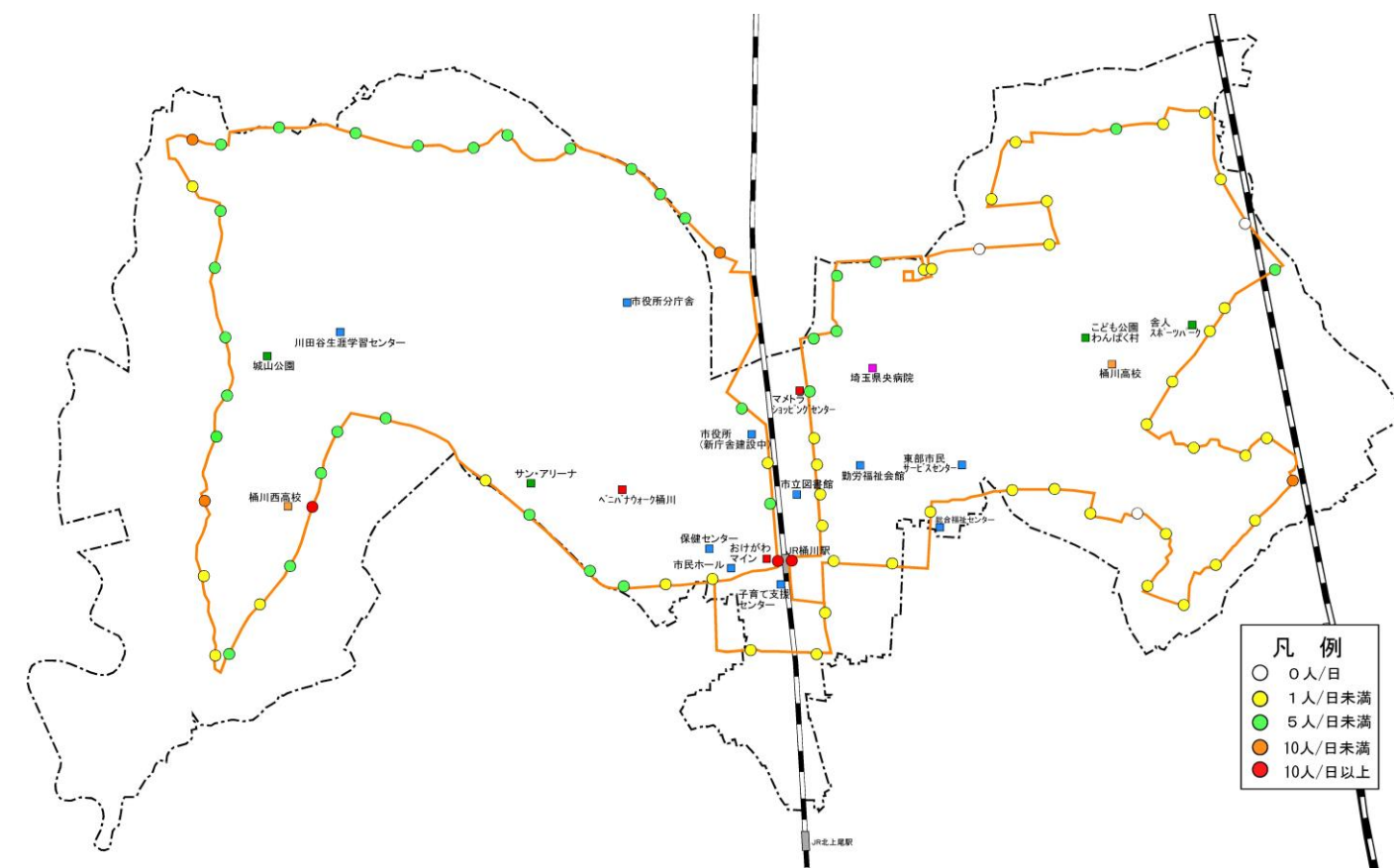
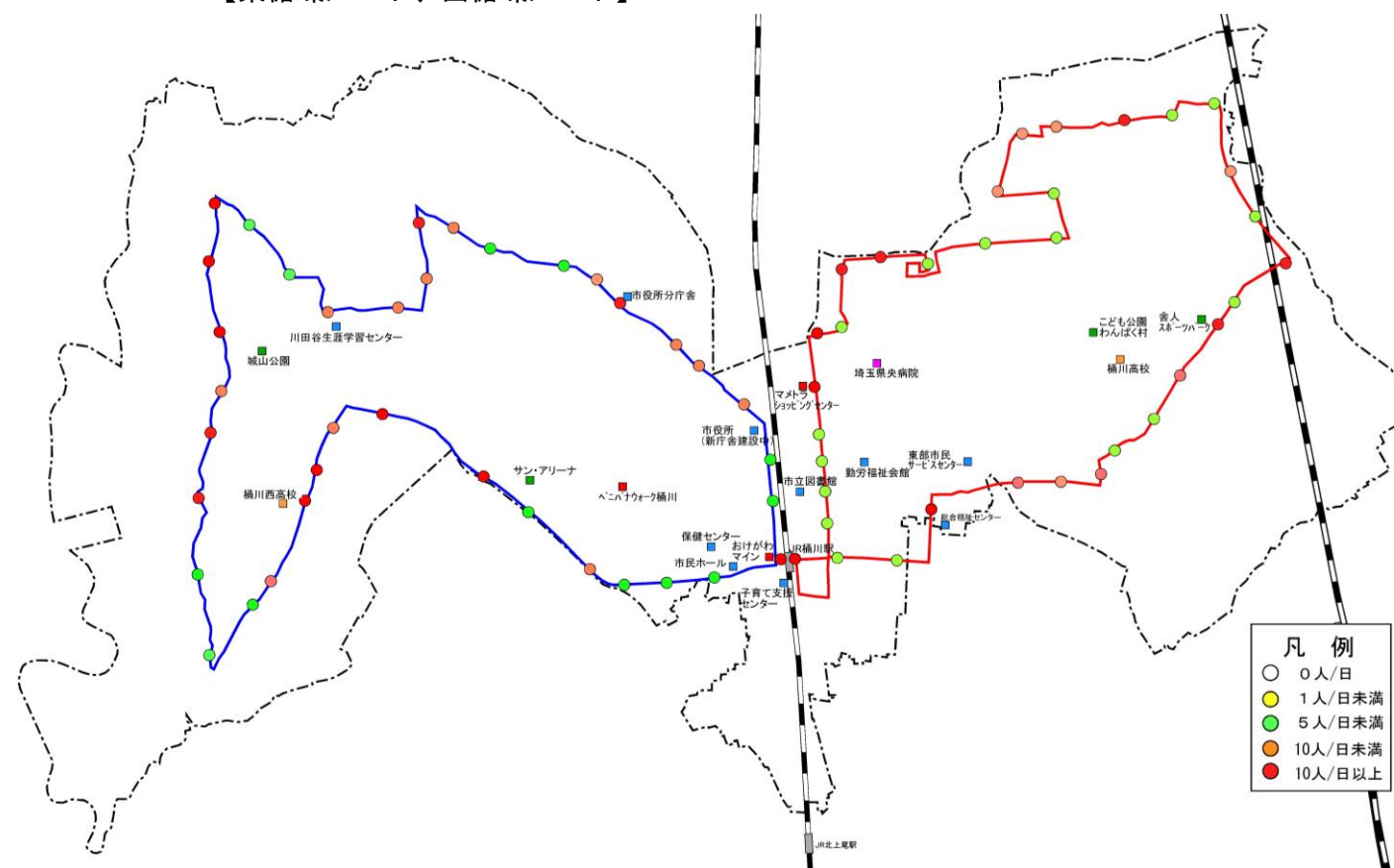
- ・バス停別1日当り平均乗降客数をみると、東循環ルート及び西循環ルートにおいては、比較的どのバス停においても利用が多くなっているが、東西循環の2ルートにおいては乗降客数が1人/日未満がやや多くなっている。とくに、東西循環ルート外回りにおいて、桶川駅東側において利用が少ないバス停が多くなっている。
- ・乗降客が多いバス停は、桶川駅が一番多くなっており、桶川高校・桶川西高校及び北部工業団地入口バス停で利用が多くなっている。

※下図の図は、平成27年度に実施した乗降調査時のため、ルートが一部現行のルートと異なっています。
(現行のルートは、平成28年8月1日に変更)

【東西循環（内回り）ルート】



■ルート別に見た利用が多いバス停別乗降客数
【東循環ルート、西循環ルート】



- ・バス停間最大通過人員をみると、全ての日において最大通過人員が 10 人以上となっており、西循環ルートにおいては平均約 30 人が乗車している。他の路線においても平均 15～20 人前後の乗車となっている。
- ・最大乗車人員が多い区間をみると、桶川駅直近の区間で乗車人数が多くなっている。また、桶川駅からの利用している人は、ルート沿線にある公共施設まで、もしくは郊外にある高校や工業団地までの区間で乗車人員が多くなっている。

■バス停間最大通過人員

			東循環	西循環	内回り	外回り
8月	8月22日	土	16	24	17	13
	8月23日	日	13	18	12	22
	8月24日	月	17	25	11	15
	8月25日	火	23	42	13	13
	8月26日	水	25	16	20	13
	8月27日	木	22	26	13	17
	8月28日	金	17	20	18	12
9月	9月5日	土	15	16	17	20
	9月6日	日	18	15	8	15
	9月7日	月	28	42	12	13
	9月8日	火	25	52	19	17
	9月9日	水	23	38	19	15
	9月10日	木	17	32	18	13
	9月11日	金	15	22	14	14
10月	10月17日	土	12	32	17	13
	10月18日	日	12	18	12	11
	10月19日	月	21	41	11	32
	10月20日	火	23	38	13	16
	10月21日	水	18	36	14	17
	10月22日	木	23	40	16	14
	10月23日	金	15	40	21	14
平 均			19.0	30.1	15.0	15.7

(5) JR桶川駅西口における民間送迎バスの運行状況

- ・現在、JR 桶川駅西口周辺においては、13 団体（内、桶川市内の団体 3 団体）の企業・学校の従業員・生徒の朝夕の通勤通学及び帰宅時の移動の足の確保として、送迎バスが運行されている。
- ・乗降場所は、駅前広場内及びおけがわマイル周辺で行われており、各団体の乗降地点、乗降時間などの住み分けが大方できている。
- ・送迎車両は、ほとんどがマイクロバスもしくは小型バスであり、埼玉女子短期大学のみ大型バスを用いている。

■ JR 桶川駅西口における民間送迎バスの運行状況

	団体名	バス事業者	団体所在地	発着本数	1日平均乗降人数
1	マリオン北本	埼玉中央観光バス	北本市	5.5	42
2	三井精機工業(株)	つばさ観光	埼玉県比企郡川島町八幡6-13	1.5	65
3	日立金属MMCスーパーアロイ	—	埼玉県桶川市上日出谷1230	9.5	86
4	コカ・コーライーストジャパン	—	埼玉県比企郡吉見町大字下細谷943-1	9.5	154
5	交通教育センター レインボー埼玉	エムエス観光	埼玉県比企郡川島町出丸下郷53-1	3	35
6	埼玉女子短期大学	西武総合企画	埼玉県日高市女影1616	3	62
7	社会福祉法人 とまとの会(ぷちとまと)	—	〒362-0001 埼玉県上尾市大字上911-3	2	9
8	大妻嵐山中学・高校	協同バス	埼玉県比企郡嵐山町菅谷558	3	33
9	㈱シーエックスカーゴ	㈱協同バス	埼玉県桶川市赤堀1-5	4	116
10	トーハン桶川SCMセンター	㈱ケーホールド	埼玉県桶川市上日出谷原新田1202-1	35.5	573
11	城西川越中学校・城西大学付属川越高等学校	㈱ケーピーエス	埼玉県川越市山田東町1042	5.5	138
12	山村学園高等学校	エムエス観光バス	埼玉県川越市田町16-2	1.5	20
13	アマゾン川島FC	城南観光バス	埼玉県比企郡川島町かわじま2-1-1 2F	3	42

※運行本数、1日平均乗降人数は、調査日5/23、5/25の平均

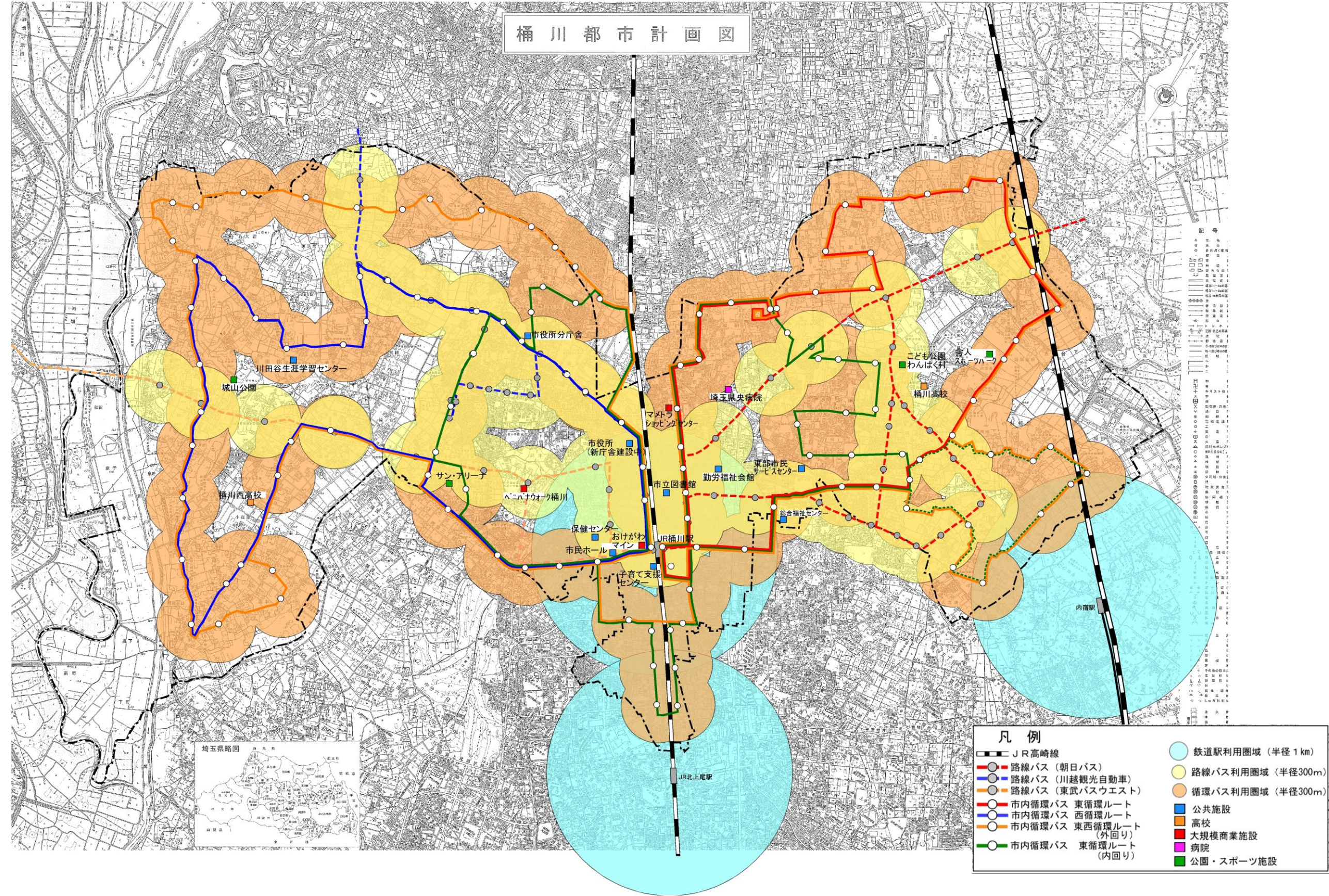
■ 民間送迎バスの乗降場所と発着本数、乗降人数



(6) 公共交通空白地域

・路線バスを補完するように市内循環バスが市内を網羅するように運行されているが、市西部及び市東部の一部において、公共交通空白地域が存在している。

■桶川市における公共交通利用圏域図



3 上位・関連計画における市内循環バスの位置付けの整理

(1) 桶川市第五次総合振興計画後期基本計画（平成 28 年 4 月）

【計画期間】 平成 28 年度～平成 32 年度

【基本理念】 ①一人ひとりを大切にするまち
②安心・安全に住み続けられるまち
③人と自然が共生するまち
④活力に満ち人が集うまち
⑤みんなでつくるまち

【将来都市像】 『みんなで つくり 育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ』

【施策の大綱】 ①だれもが主役の桶川をつくる
②生きる力を育み次世代に繋げる桶川をつくる
③共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる
④環境にやさしく安心・安全に住み続けられる桶川をつくる
⑤みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる
⑥にぎわいと活力ある桶川をつくる
⑦計画的で将来を見据えた桶川をつくる

【目標人口】 77,000 人（平成 32 年）

【施策（歩いて暮らせるまちの実現）】

[施策展開のために取り組む基本事業]

●公共交通の充実

広域な新規バス路線の参入促進や拠点同士を結ぶ市内循環バスの充実、さらに、近隣自治体との市内循環バスの相互利用なども視野に入れながら、交通空白地域の解消など地域公共交通の活性化を図ります。また、これらを実現するために、桶川駅東口駅前広場などの円滑な整備に努めます。

【主な取組】

- 路線バス及び市内循環バス路線の充実
- 駅及び駅周辺の交通機能の改善・整備

【施策の目的達成度を測るための指標】

○循環バス年間乗車人数

現在（平成 26 年度）289,200 人 ⇒ 目標（平成 32 年度）300,000 人

(2) 桶川市都市計画マスタープラン（改訂版）（平成 25 年 3 月）

【目標年次】 平成 37 年度

【基本理念】 「みんなが主役の生活環境・交流拠点都市・桶川」

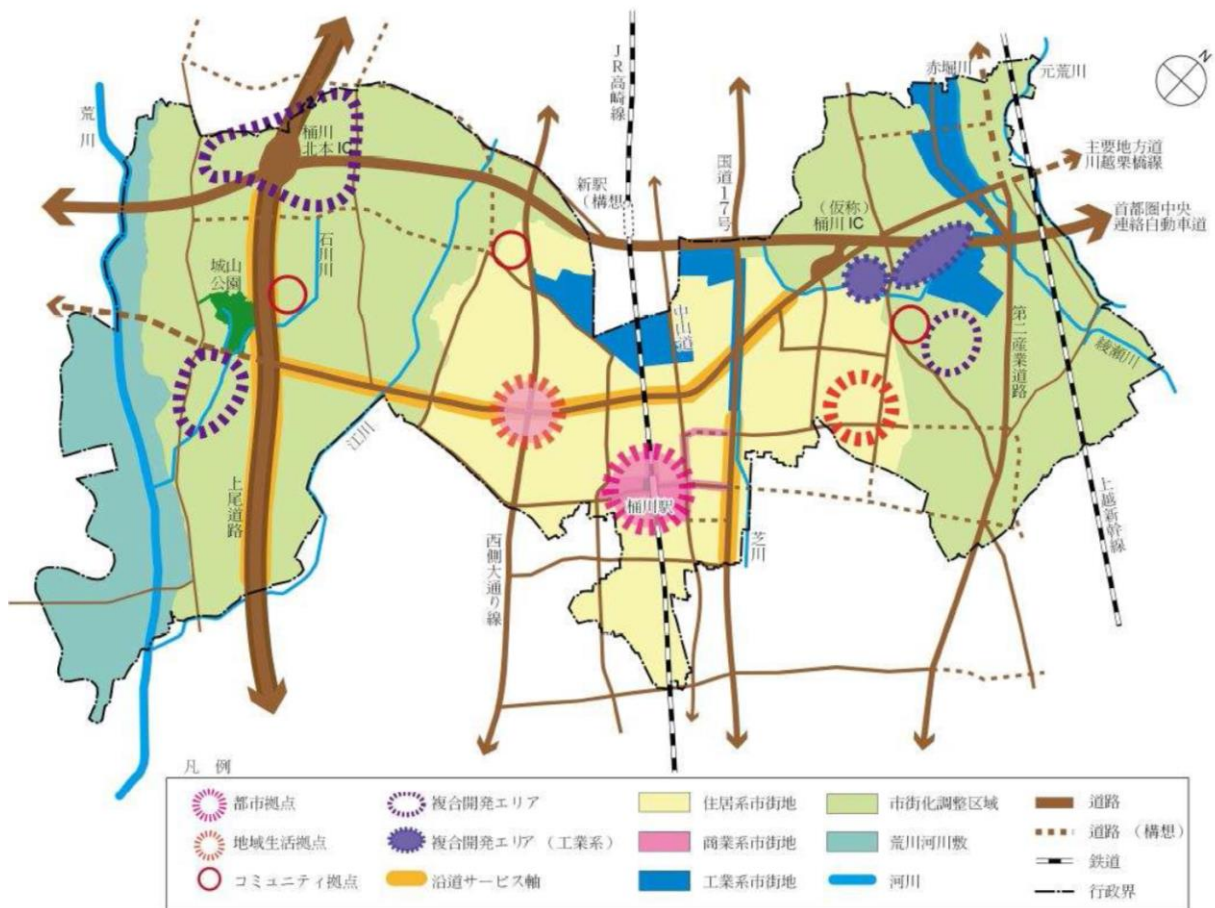
【目指す都市の質】

- ①歩いて暮らせる安心・安全のまちづくり
- ②広域交通網をいかしたまちづくり
- ③水辺と農が調和するまちづくり

【将来都市構造 ～集約型の都市構造～】

- 5 つの拠点形成 ……都市拠点、地域生活拠点、コミュニティ拠点、観光まちづくり拠点、公園・みどりの拠点
- 2 つの軸の形成 ……緑・水辺軸、沿道サービス軸

土地利用方針図



【交通体系整備の方針】（鉄道、バスなど公共交通網の整備方針）

■循環バス「べにばなGO」

- ①行政サービスと福祉的視点から、公共交通、公共施設への足として路線の充実を図ります。
- ②停留所以外でも乗り降りできるシステムなど、自由度の高い運用を検討します。
- ③バス停でのベンチの設置や点字・音声案内など、高齢者や障がい者などに配慮します。

(3) 桶川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 28 年 3 月）

【計画期間】 平成 27 年度～平成 31 年度

【基本方針】 子育て環境の充実
移住・定住の促進
ふるさと回帰

【基本目標】 ①若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
②新しいひとの流れをつくる
③安定した雇用を創出する

【施策の方針 2-3】生活の活動軸の充実を図る（公共交通の充実）

◆施策の効果を図る指標（KPI）

指標	現況値 () 内は基準年	目標値 (平成 31 年度)
循環バス年間乗車数	289, 200 人 (H26)	300, 000 人

◆必要な取組

取組の視点	取組の内容
▶ ベッドタウンとしての地域性と利便性を活かした環境の形成を図る。 ▶ 通勤・通学などにおけるアクセス機能の向上を図る。 ▶ 行楽など遠隔地へのアクセス機能の向上を図る。	◎ 都市計画道路の整備推進 ◎ 桶川駅東口駅前広場等の整備推進によるターミナル機能の確立 ◎ 自由通路（駅舎）の改修やバリアフリー化（エレベーター設置等）の推進 ◎ 循環バス（べにばな GO）のルート見直しによる利便性の向上

